

代理店通信 22  宮崎県

今回はテラセルの販売にご協力頂いている、「インフラテック株式会社 延岡営業所」様からのご意見やご感想を紹介します。

ガードレール擁壁から テラセル擁壁工法へ変更採用 テラセル® 擁壁工法

インフラテック株式会社 延岡営業所 四元 賢吾

インフラテック株式会社
延岡営業所 四元様

現場は宮崎県延岡市北方町、紅葉の時期は多くの観光客で賑わう鹿川溪谷に近い林道です。当初の設計ではガードレール擁壁 H=1,500~3,000 延長 14m で計画しておりましたが、現場までの道のりが非常に狭小なため再検討となりました。そこで元請業者様より以前紹介していたテラセル工法はどうだろうか？との提案を頂き、東臼杵農林振興局・宮崎県治山林道協会および東京インキ(株)様と現地にてテラセル工法+ガードレール擁壁 H=500 の組み合わせを提案いたしました。これまでの林道工事ではガードレール擁壁が主流となっていたため承諾を頂けるまでに時間が掛かりましたが、工事が終わってしまえば軽量かつ施工性の早さに驚かれておりました。また振興局管内の他の現場でもテラセル工法を推奨していきたいとお言葉も頂くことができ、元請業者様も大変喜んでおられました。

今後も東京インキ(株)様と協力をしながらテラセル工法の普及に努めていきたいと思っております。



■ 施工概要

施主：宮崎県東臼杵農林振興局
工事名：平成 27 年度道整備交付金事業
(開設) 下鹿川・上鹿川線 (2工区)
施工会社：岡田工業株式会社
施工規模：26.5㎡

鉄道総研技術フォーラム2016に 『RRS®工法』を展示

緩勾配のり面の耐震・耐降雨対策工法として

東京インキ株式会社 加工品営業部 堀江 征信

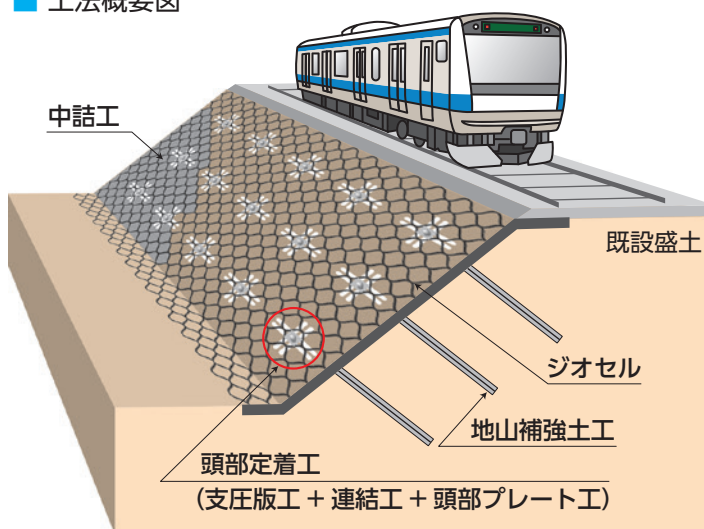
鉄道総合技術研究所国立研究所で8月25日・26日の2日間にわたり、鉄道総研技術フォーラム2016が開催されました。フォーラムのテーマは『東日本大震災から5年－レジリエントな鉄道を目指して－』です。東日本大震災から5年半の間に熊本地震、ゲリラ豪雨の増加、大きな勢力の台風の発生と、過去では考えられなかった複合的な要因による災害の被害が発生しています。そこで、対策工法として誕生したのが、『RRS工法』です。



『RRS工法』は、(公財)鉄道総合技術研究所・(株)複合技術研究所・ライト工業(株)と今後の対策工法として共同開発され、今回のフォーラムの専門講演では「最近の基礎・土構造の耐震補強技術」の工法例の1つとして、ご紹介がありました。本工法は地震対策として、多くの実績を持つ地山補強土工法と、降雨対策として多くの実績を持つテラセルのり面保護工法を一体化させ、地震対策と降雨対策を個々の対策工ではなく、本工法のみで耐震対策と耐降雨対策を施し、既存の設備を活かしつつのり面の強化を可能とし、工期短縮や経済性を期待できます。また、環境にも配慮し、中詰材に植生土のうや現地発生土を使用する場合は、容易に緑化も可能です。

今回の展示では鉄道関係者の方々に多く立ち寄っていただき、貴重な意見交換の機会になったことを深く感謝しております。あらためて、地震対策と降雨対策の必要性は高まっていることや対策の必要な対象箇所は広範囲で営業路線距離も長く、対策工の困難さを知り、今後は『RRS工法』をより多くの方に紹介して、検討していただきたいと感じました。

■ 工法概要図



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.
<http://www.tokyoink.co.jp>

本社 / 〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4 TEL.03-5902-7627
札幌営業所 / 〒065-0020 札幌市東区北二十条東 18-2-1 TEL.011-784-7772
仙台営業所 / 〒980-0801 仙台市青葉区木町通 2-1-18 TEL.022-274-3531
新潟営業所 / 〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-25 TEL.025-245-3141
名古屋支店 / 〒452-0813 名古屋市西区赤城町 112 TEL.052-503-3721
大阪支店 / 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 1-28 TEL.06-6761-0077
広島営業所 / 〒732-0827 広島県広島市南区稲荷町 5-18 TEL.082-568-4400
福岡支店 / 〒816-0912 福岡県大野城市御笠川 3-13-5 TEL.092-503-8979